

○議長（井上勝彦君）順番17、1番 辻本君。

〔1番（辻本 勉君）登壇〕

○1番（辻本 勉君）いよいよ最後になりました。持ち時間が1時間なんですけども、中途半端な時間になりました。できるだけ、傍聴の方もおられますので、ご迷惑をかけないように的確に時間内に、12時までに終わりたいと思います。

それでは一般質問を行います。

今回、統一地方選挙が終わりましてはじめての定例会ということで、一般質問、新人議員の方が何名かされました。私も新人議員のときにやらせていただいたんですけども、大変期待をしておりました。新人議員、どのような一般質問をされるのかなということで期待しておったんですけども、それなりにずっと、私は一番最後なのでゆっくり聞かせていただいたら、大変すばらしい一般質問をされておったように思います。それを受けて、我々先輩議員としても、これからもっとしっかりした一般質問をしていかなあかなということで、気持ちを新たにいたしましたので、今回はともかく、これからもっともっと勉強して、ちゃんとした一般質問をしていきたいと思えます。

それでは入っていきます。今回は一点だけに絞らせていただきました。これにつきましては、昨日、15番の田中議員と重複する点が多々あるんですけども、私のはできるだけ重複しないように、今後閉園されるであろう園の問題についてやっていきたいなと思っております。

すみだ保育園、三石保育園、橋本小学校及び橋本斎場の跡地利用についてということで、

幼保一元化、また三石保育園においては土石流危険地域、それと小中一貫、それと斎場については地元との契約期限切れ等に伴って新築移転される、今申し上げた4施設なんですけども、この建築物と敷地利用計画についてお尋ねをしたいと思えます。

昨日もありましたが、高野口こども園が開園され2年以上経過していますが、旧3保育園についても建物がそのままになっています。新しい施設を別な場所に移してつくるときには、旧の建築物とその跡地をどのように活用していくかというのは、十分に事前に検討すべきことであって、計画を立てておく、これは当然のことではないでしょうか。そういうことで、四つのところについてはどういう形でされるのかと。今後、幼保一元化及び小・中学校の適正化とか、いろんなことがありまして閉園・閉校が多く出る可能性がたくさんあります。それも踏まえて、きちっと跡地利用を計画しておくが当然のことなので、その辺を踏まえて、4園についての計画等があればお教えりたいと思えます。

まず、1番目につきましてはすみだ保育園について。二つ目は三石保育園について。三つ目は橋本小学校について。四つ目は橋本斎場についてということでお願いいたします。

以上、1回目の質問を終わります。

○議長（井上勝彦君）1番 辻本君の一般質問に対する答弁を求めます。

健康福祉部長。

〔健康福祉部長（上田敬二君）登壇〕

○健康福祉部長（上田敬二君）すみだ保育園及び三石保育園についてお答えいたします。

すみだ保育園は幼保一元化計画に基づき、

山内幼稚園、隅田幼稚園、兵庫幼稚園と一元化し、来年4月に「すみだこども園」として開園いたします。すみだ保育園は隅田町中島145番地に位置し、2,822㎡の敷地を有するものですが、こども園へ移転後の建築物及び敷地については、直ちにこうしていくといった計画案を持っていません。

すみだ保育園に限ったものではありませんが、本市といたしましては、使用しなくなった土地・建物は売却していくのが基本方針でございます。しかし、地元の皆さんからの要望があれば、そして、それが本市にとりましても、地元にとりましても有益な利用方法であれば、協議検討してまいりたいと考えております。

次に、三石保育園ですが、土石流危険地域であることがわかったことから、保護者との話し合いの結果、新築移転し、平成25年4月の開園を予定しています。現在の三石保育園は、斜面に沿って1階、2階に分かれ、3,464㎡の敷地を有するものですが、これもすみだ保育園同様、直ちに跡地利用の計画案を持っているものではありません。しかし、施設の安全性について問題があるという理由で移転を決定した経緯からすれば、安易な利用はできないと考えていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

○議長（井上勝彦君）教育次長。

〔教育次長（山本芳弘君）登壇〕

○教育次長（山本芳弘君）次に、橋本小学校についてお答えいたします。

橋本小学校の跡地につきましては、現在、市内部に橋本小学校跡地利用検討のための会議を立ち上げ、既に4回の会議を重ねております。この会議では、現在の小学校を平成25年4月の開校をめどとして、橋本中学校の敷地内に移転改築した後は、橋本市幼保一元化5カ年計画に基づく（仮称）橋本こども園を

建設していくこととして、関係部署が集まり協議を続けているところでございます。

その工程は、本議会で補正予算として、旧の橋本幼稚園の解体工事費を議案として提出しておりますが、ご承認いただきますと今年度内に解体撤去し、平成24年度にはこの幼稚園跡地から小学校南門に至る小学校解体工事用車両の進入路を建設する予定としております。その後、平成25年度には小学校校舎及びプールを解体撤去し、平成26年度に（仮称）橋本こども園の建設、その開園を平成27年4月とするところまで計画しております。

なお、議員もご承知のとおり、この小学校周辺は埋蔵文化財包蔵地となっており、土木工事を行う場合には調査が必要となる場合がございます。

同時に、議員ご承知のとおり、ここの小学校の用地のうち、一部には借地があり、現在、土地所有者が2名、公募面積で約4,500㎡ございます。この借地につきましては、大部分が社会体育施設として残していく屋内運動場と今後建設される認定こども園の駐車場の敷地になるため、土地所有者とも協議を行った上で、現在のところ引き続きお借りしていく考えでありますので、ご理解をお願いいたします。

○議長（井上勝彦君）市民部長。

〔市民部長（井浦健之君）登壇〕

○市民部長（井浦健之君）橋本斎場の跡地利用についてお答えします。橋本斎場は、地元赤塚区の皆さまの温かいご理解とご協力によりまして、3年間の使用期間の延長をいただきまして、平成24年6月30日をもって使用期間が終了となります。跡地の利用につきましては、有効利用できますように地元赤塚区の皆さまと協議をいたしまして決定していきたいと考えております。

○議長（井上勝彦君）1番 辻本君、再質問

ありますか。

1番 辻本君。

○1番(辻本 勉君) それでは、すみだ保育園の関係から入っていきたいと思います。

すみだ保育園につきましては、こども園計画の中で、当初は現すみだ保育園の場所にこども園を建設するという案がありまして、地元と色々な折衝の中で、最終的には今こちらの東のほうに、やや西のほうですか、国道24号のほうに今造成工事がやられましたところが変わってくると思うんですけども、当初、現場所にこども園を建設するというので用地買収をされておると思うんですけども、その辺、議会にも上がっておったと思うんですけども、再度、金額と面積をお教え願えますか。

○議長(井上勝彦君) 1番 辻本君の再質問に対する答弁を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長(上田敬二君) 現在、開発公社が土地8筆を取得しておりまして、面積は2,063.13㎡、金額にしまして4,203万8,184円でございます。

○議長(井上勝彦君) 1番 辻本君。

○1番(辻本 勉君) ありがとうございます。ということは、それだけの投資をしたということですね。そして、また新たに新しいこども園建設用地に用地買収をして、投資をしていっておるといことでありますので、この跡地については、速やかに、もう今の段階でどうするのかということをはっきり押さえておかななくてはならぬの違うのかなど。市の投資でしょう。はっきり言えばね。こちらに、今の現の保育園に四千何百万円投資して土地を買うと。そうでしょう。それがあかんようになったから、地元と話しして向こうへ変わりましたよと。そしたらまた向こうでも土地を買うて建設をしておるわけでしょう。新

しいこども園はそれはそれでいいでしょう。そしたら、最初に投資した、そのすみだこども園の用地については、どのようにするんかというたら、きちっと把握した中で方針を立てた中でしないと、これはおかしい話なんですね。企業でもそうでしょう。投資しておいてそのままというわけにいきませんわね、これは。その辺、どのようにお考えですか。

○議長(井上勝彦君) 健康福祉部長。

○健康福祉部長(上田敬二君) 土地購入当初は、あくまでも現在のすみだ保育園を拡張しまして、すみだこども園を建設していく、そういう計画でございました。途中いろいろ、ごみ焼却場の関係とか、地元区の関係とか、過去からの協定書等がありまして、道路進入路とか駐車場の渋滞緩和策、それと渋滞に至らないように、すみだこども園に至る道路の拡張等の要望をいただきました。そういう要因があったんですけども、あわせて、すみだこども園再配置計画懇談会というのを地元の区長さん、あるいは保護者会の方に入ってくださいまして、すみだこども園の建設について全般的に協議を進めてまいりました。

そういった地元の要因もあることに加えて、抜本的な渋滞緩和策とか、あるいは位置の問題等も協議する中で、場所を変えては、というような話があって、そこで上兵庫のほうへ移転するという方向性が示されました。これが21年11月でございます。その時点で、そしたら既に購入したすみだ保育園の拡張用地を今後どうするかと決められれば良かったんですけども、その時点では具体的にこうするという方途につきましては、なかなかあわせて決めていけないという状況でございました。

○議長(井上勝彦君) 理事。

○理事(吉田長司君) 現在のすみだ保育園につきましては、市道に面したところでございます。それで、今回追加買収した8筆につき

ましては、その南側ということで、進入路はあるわけですが、ちょっと道路から離れているような状況でございます。ということで、その土地だけを処分するということではできませんので、これはすみだ保育園の跡地と含めて、これはまだ地元には言ってませんが、原則的に処分する予定で考えております。

以上でございます。

○議長（井上勝彦君）1番 辻本君。

○1番（辻本 勉君）あそこへつくるのが、向こうへ変わったという、そんなんもう全部僕も知っておるんですよ。そうでしょう。いきさつから始まってね。議会も承認して、あそこへ変わっているわけよ。そうでしょう。そんな中身、僕も文教厚生委員会におったので、そんなんすべて承知しておるんよ。そんなこと言うてるのと違うんやで。今、理事が答えてくれたとおり、跡地をどないするんやと。投資した金額を、やっぱり市民の貴重なお金でしょう。それを4,000万円以上も突っ込んで、それをそのままにしておいて、どないするんやという方針を出してないから質問させていただいておるわけですよ。そやから、売却するんやというんであれば、それは当然のことなので、それはそれでいいん違いますか。

だから、そういうことを、新しいこども園ができるまでに、きちっとやっていくのが行政の役割でしょう。何かにつけてそうなんですよ。そやから、きのう15番議員が質問した、大野の保育園の問題でもそうですやん。2年もたっておるのに、まだ何もしてないでしょう。あとの3園は話し合いをして、使ってもらったり、売却の方針とか出しておるけども、大野なんて何もしてないでしょう。皆、そないして全部が全部、これからいろんな形で保育園とか学校が統廃合されてきたら、そ

の跡地はどないするんやということ、やっぱりきちっとせんと、だらだら、だらだらしてしまって、いつまでたっても結論が出ないという、そういう状況では話にならないので、きのうも田中議員が言われとったけども、危険性があるし、安全・安心の面から言うてもやっぱり速やかにそういうものはちゃんとせないかん。そういう方針も出せへん。とりあえず年次計画を立てて、方針を出してやっていくのが行政の仕事でしょう。

だから、すみだ保育園につきましても、そういうことなので速やかにやっていただきたいなと思います。すみだこども園の関係で言ったら、山内とか平野とか、この辺も絡んできますので、ここらは割と敷地も小さいし、地元に着した、特に地元に着した幼稚園といいますか、そういう関係なので、地元とも速やかに協議をしていただいて、やっていただくということでお願いしておきたいと思えます。きちっと議会のほうにも出してくださいよ。こういう跡地はこういうふうにしなすということね。年次計画を出せばそれにこしたことはないし。それは、今後いろいろ発生してきますので、よろしく願いしておきます。

そしたら、すみだ保育園を終わらして、2番の三石保育園にいきたいと思えます。再質問、よろしいですか。

三石保育園のほう、答弁いただいたんですけども、土石流の関係で大変危険地域ということで、三石台の区内に新築移転ということは、これは子どもたちの安全・安心からいきますと大変喜ばしいといえますか、市長がご英断いただいたと思うんですけども、当初、土石流対策ということで進んでおったんだと思うんですけども、市長がご英断されて新築移転という形になったので、これは地域の子供たちにとっては大変ありがたいことなん

ですが、そうしていきますと、跡地をどないするんかということが、またこれ、決まっていなかったらおかしな話なんですよ。

実際、行きますと、あそこは危険地域ということなんです、下のほうに民家が今たくさんできておるんです。あの下、ちょうど三石保育園の下のほうにね。ずっと民家ができておるんですわ。市は、市の施設やから、危険やから向こうへ行って逃げたらよろしいわ、向こうへ行きましたよと。ほな、あとどないするんか、まだ今のところ決まっていな。そんなら、その下まで及ぶかもわからんその下に住んでいる地域住民から見たら、市は自分とこ危ないさかい逃げたよと。ほな、あとどないすんかと決まっていな。そしたら下の住民はやっぱりものすごい不安を持っておると思うんですよ。

そやから、あそこはやっぱり土石流で危険であれば、速やかに土石流対策を市としてやっていくということが一番大事かなと思うんですよ。保育園の新築とあわせてでも、土石流対策をやっぱりきちっとせなあかんのと違うかなと。あの建屋自体が全く、たしか15年ぐらいになってると思うので、建屋自体は悪くないと思うので、要は、土石流で危険やからということなので、建屋は大丈夫だと思うんですよ。ほんで、建屋はそのまま放っておいて、しておくんかと。ほんでその建屋が、言うたら悪いけど、土石流の、まあ言うたら防護壁というかな、そんなふうを考えておるんかね。ちょっとその辺が見えてこないの、三石保育園の跡の土石流対策について、どうしていくんかということも含めてご答弁をいただきたいと思います。

○議長（井上勝彦君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）跡地利用も含めて、今回の件につきましては、建物を除却しますと、議員おただしのように、それがひとつの

防波堤になっておるので、周辺の民家へも影響が出てくるということで、単なる跡地利用ということではなくて、土砂災害の防止対策をまず考える必要があるかなと思います。

そういった中で、具体的に申しますと、いわゆる土石流対策等については、事業としては県事業ということになります。それから、県下において今、土石流の警戒地域あるいは特別警戒地域について、逐次指定しておりますが、橋本市においてはまだ調査段階でございます。しかし、この件も含んでおりますので、県のほうへも早急に働きかけながら、また本市としても、どういったことができるかということ念頭に置きながら、対応を考えていきたいと思いますが、まずは、跡地利用よりも土石流対策に重点を置いた判断ということになりますと、まず県のほうと連動しながら警戒地域あるいは特別警戒地域の設定作業という話になってくるのかなと思います。

ただし、この場合、一昨日のご質問でもご答弁させていただいたんですけども、本市においては900箇所を超える危険地域もございますので、そういった中での本市としての優先順位ということも加味しながら、対策を今後早急に考えていきたいというふうに考えます。

○議長（井上勝彦君）1番 辻本君。

○1番（辻本 勉君）土石流対策をきちっとやっていくんやということを明確にさせていただいたら、それはそれでいいと思うんです。県の関係であれば、県に対してもやっぱり強く要望していくと。本来もっと早くやっている間に、県に対して強く要望していくのが重要なこと違うんかなと。

僕、何日か前にも、この雨が続けているときにも三石保育園に行ってきましたけども、今でも子どもさんが保育を受けておるんですよ。子どもさんがね。今のこの雨の多い中で

も保育を受けておるんです。大変危険な中で保育を受けておるので、やっぱり最終的には新築移転で、それはいいことなんですが、それまでにきちっと土石流対策をしていってやるというのが安全・安心のまちづくりにとって基本なので、優先順位もちょっと考えながら、子どもたちおったら優先順位も上がるけども、これ、向こうへ変わってしもうたら、はっきり言って優先順位も上がらんかもわからんわな。実際。県へ出すときにやで。だから、その辺も含めてきちっとしてください。防波堤で、防護壁で置いておくんやったら置いておくで、それはそれでいいですよん。きちっと住民にわかるようにしてあげてください。のいたままで、幽霊みたいになってああいうところに置いておったら、上からは土石流落ちてくるかもわからんし、建屋はそのままでもだれもおれへん。下には地域住民が結構住んでおるんやからね。その辺だけ、十分きちっとした対策をしてあげてほしいと思います。県との絡みがあるので、なかなか進まないと思いますけども、その辺はよろしく願いしておきます。

続いて、橋本小学校、大変具体的なお答弁いただいて、本当にありがとうございます。このとおり進めていただいたら何も言うことないんですけども、今言うてる三石保育園よりも、橋本小学校のほうが一番危険だったんですよ。そうでしょう。橋本小学校の北校舎、Is値0.17でもものすごい危険やった。で、プレハブ建てていただいたんやけども、いつ何時、あれが倒壊するかわかれへんような状況なので、今現在は子どもたちが授業を受けておるので、工事的には大変やりにくい部分がありますけども、これは子どもたちが小中一貫で橋本中学校に小学生がかわったときには、速やかに北校舎を撤去する。ほんまはおつてもやってほしいぐらいなんですわ。いつ何時崩

れるかわからんという危険な状況なのでね。それは、やっぱり工事の関係で、大変工事的にも危険性が発生したらいかんということで、子どもたちに危険な状況になってもいかんということで、やむを得ないと思いますので、ここについては速やかな解体工事をお願いしたい。後、予定が入ってますので、子ども園の予定が入ってますので、よろしく願いしておきたい。

このこども園の話が出てきたので、これに関連する今の幼稚園は、もう予算が上がってきてますが、橋本幼稚園はつぶして、ここに進入路ができると。これはわかるんですけども、そしたら後の（仮称）橋本こども園の絡みから言うたら、今の橋本保育園と橋本東保育園、この辺もどないするんかということ、やっぱりきちっとしたってほしいんですわ。計画を立てて、さっきから言うてるすみだ保育園と一緒に、跡地利用をどないするんなどいうことを、もう計画できておるんやからね。そうでしょう。（仮称）橋本こども園を橋本小学校の跡につくるという、平成27年開園ということで計画できておるんやから。そうでしょう。幼稚園もつぶすんやったら、そしたら保育園、二つあるやつをどないするんなどということも、きちっとやっぱり計画を立ててやっていただきたいと思います。橋本小学校についてはそういうことで、大変詳しくお答えいただいたのでありがとうございます。

4番目の橋本斎場についてですけども、こちらについては6月30日までということで、期限がきれます。地元との協議ということなんですが、それはそれとしていいんですが、炉ですわ。現在の炉。これはやっぱり速やかに撤去せんといかんと思うんです。あとの建屋とか敷地の問題は、それはいろいろ地元と協議してもらったらいいんですけども、炉については、やはりああいう施設なので、速や

かな撤去は僕は必要やと思うんですよ。使用しないで炉をそのまま放っておくというのは、これはいかなものかと思しますので、炉の撤去については、これは行政が責任を持ってやらないかんと思うんですが、地元協議の前にもやらないかんので、炉の撤去についてのお考えを、ちょっと市民部長。

○議長（井上勝彦君）市民部長。

○市民部長（井浦健之君）先ほどご答弁をさしあげさせていただきましたように、橋本斎場の使用期限が来年の6月30日ということになっております。現在、高野口斎場の増設工事を進めて、その期限までに完成したいという考えの中でおるわけでございますけども、いわゆる高野口斎場の増築工事が終われば、当然、橋本斎場の使用というのがなくなってくるので、炉については今、辻本議員がおっしゃられるように、早急に撤去したいなというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（井上勝彦君）1番 辻本君。

○1番（辻本 勉君）ありがとうございます。

本当にすべてが貴重な市の財産なので、き

ちっとその跡の利用というのはやっていかんと、投資するばかりでその財産をどない生かしていくんな、残された財産をどないしていくんなというのは、これは本当に大事なもので、その辺は十分そういう認識を持って、企業的な感覚の中でその資金を、資金といいますか財産を、どない活用していくんなということは、きちっとした中でやっていっていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

終わります。

○議長（井上勝彦君）これをもって、1番 辻本君の一般質問は終わりました。

---

○議長（井上勝彦君）これにて、一般質問を終結いたします。

以上で本日の日程は終わりました。

本日はこれにて散会いたします。

ご苦労さんでございました。

（午前11時39分 散会）